

平成 28 年度第 2 回機器及び安全に関する委員会 議事録

日時：平成 28 年 9 月 30 日（金） 17:30～19:30

場所：日本超音波医学会事務局会議室

参加者（13 名、敬称略）：秋山いわき、菊池昭彦、工藤信樹、石原謙、尾本きよか、桑田知之、立花克郎、谷口信行、内藤みわ、中谷敏、名取道也、山川誠、新田尚隆（記録）

1. 前回議事録確認

- ・ 前回議事録を承認した。

2. 検査環境検討小委員会報告

- ・ 本小委員会の終了を承認した。

3. 音響放射力検討小委員会報告

- ・ 心臓の期外収縮及び肺損傷の評価を引き続き実施する。
- ・ 本会公式ウェブ公開中の会告について、これまでの研究成果を投稿した論文のリストを掲載することとした。

4. 経膈プローブの消毒法に関する小委員会

- ・ 「経膈プローブの取り扱いに関する注意」を本会公式ウェブの「超音波診断装置の安全性に関する勧告や資料」のページに公開することとした。

5. 妊娠初期の超音波照射と ASD に関連する論文について

- ・ S. J. Webb et al. “Severity of ASD Symptoms and Their Correlation with the Presence of Copy Number Variations and Exposure to First Trimester Ultrasound”, *Autism Research*, 2016(DOI:10.1002/aur.1690) について検討した。関連する”ISUOG Statement on ultrasound exposure in the first trimester and autism spectrum disorder, 20 September 2016”を確認し、本委員会で追加する意見等はないことを確認した。

6. 超音波の生体作用実験ガイドラインについて

- ・ 和文誌において既に 2 回分を掲載した。連載を継続することを確認した。

7. 翻訳「診断用超音波の安全な使用」について

- ・ ダウンロード数が 1,200 を超えた。今後、アップデートについて検討する。

8. 日本画像医療システム工業会からの依頼について

- ・ 添付文書テンプレートの記載内容が承認された。次回の理事会で提案する。

9. 学術集会アンケート結果等について

- ・ 約 500 名の医師・検査技師の方々から回答が得られた。
- ・ 来年度の学術集会でも本委員会主催の特別企画を検討する。

以上